



シェアの時代を先駆けて新しい余暇の過ごし方を提案

会員制リゾートホテル「東急ハーヴェストクラブ」篇



東急ハーヴェストクラブ 軽井沢 & VIALA
2018年7月20日開業

30年前からシェアリングエコノミーを 実践してきた会員制リゾートホテル

別荘を持つ遊びとホテルで過ごす快適さをあわせ持つ会員制リゾートホテル「東急ハーヴェストクラブ」が誕生したのは、いまから30年前のこと。リゾート施設という資産を会員と共有し、別荘1棟を所有せずとも、より多くの人が豊かなリゾートライフを楽しめる新しいモデルを生み出しました。シェアリングエコノミーという言葉がこんなに盛んになるずっと前から、私たちは、複数人で部屋を所有する「シェア」の考え方をビジネスに取り入れ、それまでにない新しい余暇の過ごし方を世の中に提案してきました。1988年に蓼科からスタートした「東急ハーヴェストクラブ」は、いまでは全国25施設、会員数約2万5千人にまで広がっています。お客さまの豊かな時間と体験のために — 私たちのライフスタイル創造は続きます。



1988年、長野県にある東急リゾートタウン蓼科内に完成した『東急ハーヴェストクラブ 蓼科』開業当時の様子。背後には八ヶ岳の美しい自然が広がる。会員権は9ヶ月で完売となった。



東急不動産

www.tokyu-land.co.jp



東急不動産は、東急不動産ホールディングスの一員です。